

献辞

山本先生の古稀をお祝いする記念論文集をここに刊行することができました。心からのお慶びの気持ちをごめて先生に献呈させていただきたいと思ひます。

先生は、一九五〇年に同志社大学法学部に奉職されて以来、長い間、法学部での研究と教育に専念されてきました。その間、憲法関係の多くの論文・著書を発表されてきました。とくにフランスとアメリカ合衆国に留学された関係で、フランス憲法やアメリカ合衆国憲法についてのすぐれたご業績を多く発表されています。またボルンハークやパウンドなどの翻訳書も学界で高く評価されているものです。比較憲法学の権威としての先生の評価は、先生が日本公法学会、日本財政法学会、日本教育法学会の理事を長い間努めてこられたことにも示されていると思ひます。また一九八八年には「近代憲法の諸原理」というタイトルのご業績によって法学博士号を同志社大学から授与されています。

先生はまた学問研究のかたわら、法学部長（一九六九年）、学長事務取扱（一九六九―七〇年）、学長（一九七〇―三年）を歴任され、学部と大学の発展のために心を尽くしてこられました。とくに大学紛争の真っ直中での御苦勞は大変なものであったと推察いたします。また学生を人一倍大切にせる教育姿勢と温かいお人柄は、多くの学生たちを魅了し、影響を与えてきました。これは、先生のゼミが法学部の最も人気の高いゼミの一つであり、毎年、多くの優

秀な学生たちを集めてきたことにも示されています。

今後もご健康に留意され、先生の比較憲法学のテーマが完成するようにお祈りしたいと思います。本論文集の執筆者、そして同志社法学会会員一同とともに、山本先生のこれからの一層のご健勝と、ご研究の発展をお祈りいたします。

一九九六年八月

深 田 三 徳

法 学 部 長